

情報連絡員総括表（2020年6月）

— 静岡県中小企業団体中央会 —

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. **中央会・行政への要望**
5. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

◎売上高等の9項目につき **前年同月と比較し**、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI値 = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0 (=横ばい) で推移

※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 （回答者数 60 名：回収率 100%）

○2020年6月のDI値は、前月との比較において全9指標が改善する結果となったものの、「売上高」「収益状況」「業界の景況」の主要3指標においては、依然 -76ポイント以下という状況で、新型コロナウイルスの影響が出る前には2011年6月以降出ていないマイナス数値。

中央会や行政に対し、**小規模事業者に寄り添った助成金や、最優先で新型コロナウイルスの影響で苦しむ事業者への支援を求めるコメント**が寄せられている。

○「製造業」では、前月との比較において、「売上高」「収益状況」を含む6指標が改善、「業界の景況」を含む3指標において悪化する結果となった。

国内向けは回復基調なもの海外向けが回復の兆しが無く、7割減少が続くことを予測しているとのコメントもあった。また自動車関連企業では売上対前年同月比が-74%と非常に厳しい状況で、休業による雇用調整助成金などで対応を図っている。

○「非製造業」では、前月との比較において、「在庫数量」「資金繰り」が横ばい、それ以外の6指標が改善する結果となった。

緊急事態宣言が解除されたことにより多少人出が増えてきたようだが、飲食店やアパレル、不動産に関しては消費者の購買意欲の低下が見られ厳しい状況とのコメント。また道路旅客運送業においては、累積赤字が増え続けており社会インフラとしての公共交通機関を維持する抜本的な対策を求めるとのコメントが寄せられた。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2020年6月	-76.7	-2.4	-18.3	-30.0	-80.0	-58.3	-66.7	-36.7	-83.3
2020年5月	-86.7	0.0	-28.3	-35.0	-86.7	-63.3	-70.0	-38.3	-86.7
増減	10.0 ↑	-2.4 ↑	10.0 ↑	5.0 ↑	6.7 ↑	5.0 ↑	3.3 ↑	1.6 ↑	3.4 ↑

2. 項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減				
売上高	2020年6月	-86.7	3.3 ポイント	↑	-66.6	16.8 ポイント	↑	-76.7	10.0 ポイント	↑			
	2020年5月	-90.0			-83.4			-86.7					
在庫数量	2020年6月	3.3	-3.3 ポイント	↑	-15.4	0.0 ポイント	-	-2.4	-2.4 ポイント	↑			
	2020年5月	6.6			-15.4			0.0					
販売価格	2020年6月	-13.4	3.3 ポイント	↑	-23.3	16.7 ポイント	↑	-18.3	10.0 ポイント	↑			
	2020年5月	-16.7			-40.0			-28.3					
取引条件	2020年6月	-33.3	-6.6 ポイント	↓	-26.7	16.6 ポイント	↑	-30.0	5.0 ポイント	↑			
	2020年5月	-26.7			-43.3			-35.0					
収益状況	2020年6月	-86.7	6.6 ポイント	↑	-73.4	6.6 ポイント	↑	-80.0	6.7 ポイント	↑			
	2020年5月	-93.3			-80.0			-86.7					
資金繰り	2020年6月	-60.0	10.0 ポイント	↑	-56.7	0.0 ポイント	-	-58.3	5.0 ポイント	↑			
	2020年5月	-70.0			-56.7			-63.3					
設備操業度	2020年6月	-66.7	3.3 ポイント	↑					-66.7	3.3 ポイント	↑		
	2020年5月	-70.0							-70.0				
雇用人員	2020年6月	-46.7	-3.4 ポイント	↓	-26.7	6.6 ポイント	↑	-36.7	1.6 ポイント	↑			
	2020年5月	-43.3			-33.3			-38.3					
業界の景況	2020年6月	-93.3	-3.3 ポイント	↓	-73.3	10.0 ポイント	↑	-83.3	3.4 ポイント	↑			
	2020年5月	-90.0			-83.3			-86.7					

今月の業種別回答件数

		売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況			
		増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化		
製造業	食料品	0	3	0	1	0	0	0	1	0	2	0	2	0	1	0	2	0	3		
	繊維工業	0	3	2	1	0	0	0	1	0	3	0	2	0	3	0	2	0	3		
	木材・木製品	1	4	1	2	1	1	0	2	0	4	0	4	0	3	0	3	0	5		
	紙・紙加工品	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1		
	印刷	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1		
	窯業・土石製品	0	2	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1	0	1	0	1	0	2		
	鉄鋼・金属工業	0	2	0	1	0	0	0	1	0	2	0	2	0	2	0	0	0	2		
	一般機器	0	4	1	0	0	2	0	1	0	4	0	3	0	4	0	1	0	4		
	電気機器	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1		
	輸送用機器	0	5	2	1	0	1	0	2	0	5	1	2	0	3	0	3	0	5		
その他	0	1	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1			
非製造業	卸売業	1	2	0	1	0	0	0	1	0	2	0	1					0	1	0	3
	小売業	0	5	1	2	1	2	0	3	0	5	0	5					0	3	0	4
	商店街	1	4	1	1	1	1	0	0	1	4	0	2					0	1	0	4
	サービス業	0	3			0	2	0	2	0	3	0	3					0	1	0	3
	建設業	0	4			0	2	0	0	0	4	0	3					0	0	0	3
	運輸業	0	4			0	2	0	2	0	5	0	3					0	2	0	5

3.情報連絡員からの報告

製造業

水産食料品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中元シーズンを迎えても、新型コロナウイルスの影響から例年に比べ景気状況が好転していくように感じられない。 ・ 水産業の基盤施設が老朽化しており、施設の更新への大規模な援助等に期待する。 ・ 新型コロナウイルスの影響で組員各社の販売数量減少とそれに伴う設備操業率の低下によって、組合が提供するインフラ事業にも大きな影響が生じている。 ・ スーパー等の小売り向け商材は比較的堅調だが、業務用商材の販売が回復しないことには売上高の回復が見込めず先の見通しが立たない状況が続いている。
製茶業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスの影響により小売店からの需要の減少が続いており、通信販売等は伸びていても、厳しい状況は変わらない。
織物業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスの影響が、徐々に表面化し既存取引先との販路確保も危うい。この状況では資金を投下して前向きに活動することもリスクが大きく、自力ではどうしようもない。 ・ 状況は、全く好転しない。本年度は、デパート・スーパー大手が組合主力のゆかたの販売をほとんどしていない為、中間仕掛在庫、製品在庫が製造元・卸問屋に年間生産量に匹敵する在庫が残る結果になりそうだ。 ・ 7月以降は、今のところ受注も無く、至急の対策が必要な状況。
宗教用具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 急激な生産の減少と毎月の売上げのマイナスが続いている。今月の売上げは前年同月比-27%。
製材業、木製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本来であれば、春季に契約を得た住宅物件の材料需要がこの頃に回ってくるはずだが、新型コロナウイルスの影響で仕事が薄くなっていて、先の見通しも不安である。 ・ 6月末時点で廃業が1件、廃業予定が1件ある。無利子融資や休業補償、雇用助成金などを利用して何とか凌いでいる組員も多い。
パルプ・紙・紙加工品	<ul style="list-style-type: none"> ・ トイレtpペーパーの出荷が新型コロナウイルスの特需の反動により減少、後退気味であるが、製品市況はしっかりしており値崩れはない。
印刷・同関連業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスによる売上げが減少している。取引先倒産による影響が出ている。
セメント・同製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 売上げ対前年同月比81%で、新型コロナウイルスの影響で仕事見直しが始まった。官公需(海岸、大沢関係)が発注され、今月以降持ち直すと予測している。
金属製品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生産額 前年対比 59% ・ 相変わらず売上高は減少したままである。国内向けは回復基調にあるが、海外向けは全く回復していない。総じて7割減少が続くと予測する。
生産用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 帰休を実施して雇用調整助成金の申請を申請した。仕事量が激減し、資金繰りが苦しい。 ・ 納期未定の商談は多少あるものの先行き見通しが立たない。危機対応として、組員宛に手元資金を厚くするよう必要資金の確保を呼び掛けている。
電気機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅勤務継続・外出自粛などの新たな生活様式への変化の影響もあり、冷蔵庫・家庭用空調機の需要が回復してきている。生産も新型コロナウイルス対策を実施した上で前年並みになりつつあり、組員の受注も上向いている。
輸送用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車関連企業組員の落込みが止まらない。5月期の組員全体の売上高対前年同月比が-37%、落込みが一番厳しい組員は-74%となっており、落込みがどこまで行くのか予測が立たない状況が今後も続くと思われる。今はただ耐え生き残りの光明を探し求める時である。 ・ 4~5月と比較すると完成車メーカーの生産が戻ってきており、状況は改善されつつあるが、前年度と比較するとまだまだ厳しい状況にある。 ・ 受注部品によっては生産稼働の戻り方に差があり、一時休業を継続している組員もあるのが現状。新型コロナウイルスの影響は長期化が予測され先行きの見通しが立たないのが一番の悩み。 ・ 新規受注が無い状況がいつまで続くのか全く見通しが立たない

非製造業

セメント卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害復旧関連等で2ヶ月連続前年実績を上回るものの、今後の先行きは不透明。
各種商品卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組員1社が倒産した。新型コロナウイルスの中で返済能力が無いのに、安易で過大な資金調達をしている組員が増加している。返済猶予期間終了後に、倒産が集中しそうな為、その対応を考えている。
鮮魚小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内食需要が増えた為、鮮魚小売店・スーパーマーケットの売上は好調であった。一方飲食店・観光業等への業務卸業者を取り巻く環境が急速に悪化しており、新型コロナウイルス第2波も予想される為回復の兆しが見えない非常に厳しい状況。
各種商品小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 徐々に商店街への人出が増えてきたが、まだまだ飲食業への影響が大きい状況。 ・ 緊急事態宣言解除後に、徐々にではあるが、来店者が増加してきた。 ・ 特別定額給付金が支給されたことで、商店街へのお買い物の来店客が増加することを期待する。 ・ 4～5月は新型コロナウイルスの影響で休業店舗も多くなり苦戦したが、6月に入り経済活動も徐々に再開され、売上高対前年同月比8%程度UPした。 ・ 依然として消費者の購買意欲の低下がみられる。特にファッション、アパレルなどは苦戦が続いている。
不動産取引業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先行き不安が大き過ぎて、不動産購入といった事に興味が無くなったように見える。また、洪水等の被害想定地の値下がりや売却したいという相談が増えている。
宿泊業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊施設においては、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による4～5月の休業を経て、6月からは一部を除いてほとんどの宿泊施設が営業再開したものの、最大の商圈である東京を中心とした首都圏においては依然として自粛ムードが続いており、6月の稼働は対前年比20～30%であった。今後、国が予定している「GO TO キャンペーン」に期待する。
総合工事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスの関係も落ち着いてきている様な情報もあるが業種によりまちまちな感じである。 ・ 官庁工事は新型コロナウイルスの影響が無いように早期発注されているが、民間工事は工場系は未だに計画が延期中で、住宅系のリフォームは堅調に発注されている。
道路貨物運送業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月25日に緊急事態宣言が解除されたものの、全国的に荷動きは低調。組員の中には出荷が少ないため、倉庫に商品が溜まっていく状況で、配送の車も空いている状況が増えてきている。これに伴い運賃低下も続いている。 ・ 新型コロナウイルスによる影響で荷動きが悪い。大手製紙メーカーも製産調整を行い稼働率が落ちている。 ・ 新型コロナウイルスによる経済不況により、荷動きが悪い。建材、紙製品、部品、食品など多業種にわたって影響が出ている様子。
道路旅客運送業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4～5月の2ヶ月連続で県内全体の営業収入が7割近く落ち込むという、かつてない厳しい状況は脱した感も見られるが、依然として支出が収入を大きく上回り、累積赤字が増え続けている。社会インフラとしての公共交通機関を維持する抜本的な対策が必要。

4. 中央会・行政への要望

- ・ 当組合の組員は殆どが零細事業者である。小規模事業者の事業環境に合った支援を求める。
- ・ 新型コロナウイルス抑制のため、新しい生活様式に対応した生産方式に各社が工夫して対応しているが、売上減少等で日々苦しくなる中で、改善しなければならないことが多くあり混乱している状況にある。対応基準や中小企業向け対応マニュアル作成の為の支援を求める。
- ・ 新型コロナウイルスによる影響を受けている事業者への対応を最優先にし、不要不急、また従前通りの事業等は、人的予算的に難しいのであればとりあえず本年は凍結し、新型コロナウイルスの影響に苦しむ事業者への対策を重点的に事業展開してもらいたい。
- ・ 新型コロナウイルスに関する補助金（Go Toキャンペーン等）や、新しい生活様式への対応を行う商店に対し、経済活動の緩和処置をお願いしたい。

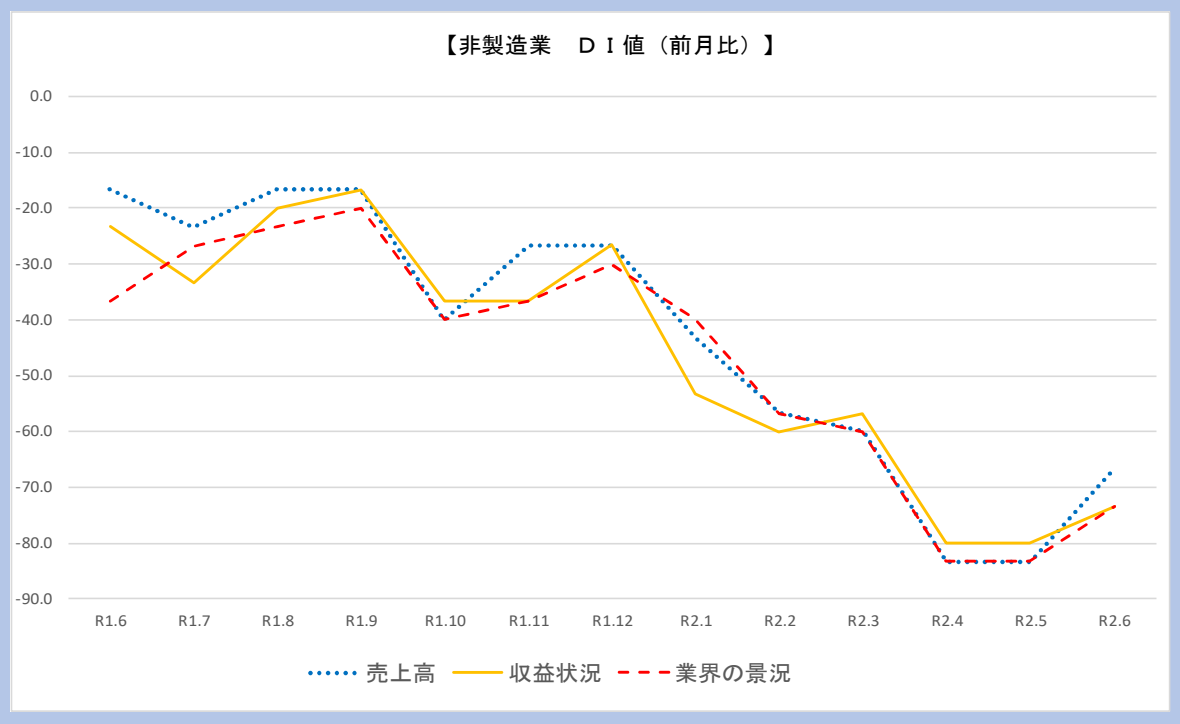
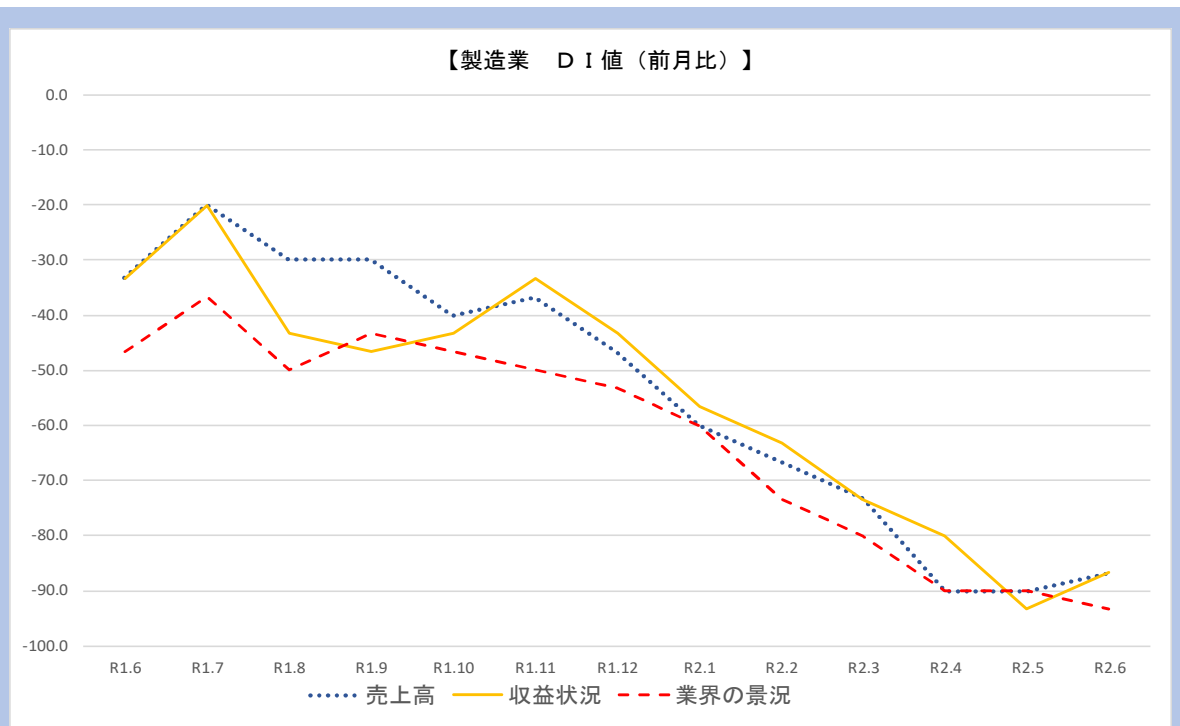
5. 主要三指標における DI 値の推移

■ 2019年6月期～2020年6月期までの推移

全体	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6
売上高	-25.0	-21.7	-23.4	-23.3	-40.0	-31.6	-36.7	-51.7	-61.7	-66.7	-86.6	-86.7	-76.7
収益状況	-28.3	-26.6	-31.7	-31.6	-40.0	-35.0	-35.0	-55.0	-61.7	-65.0	-80.0	-86.7	-80.0
業界の景況	-41.6	-31.7	-36.7	-31.6	-43.3	-43.4	-41.6	-50.0	-65.0	-70.0	-86.7	-86.7	-83.3

製造業	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6
売上高	-33.3	-20.0	-30.0	-30.0	-40.0	-36.7	-46.7	-60.0	-66.7	-73.3	-90.0	-90.0	-86.7
収益状況	-33.3	-20.0	-43.3	-46.7	-43.3	-33.3	-43.4	-56.6	-63.3	-73.3	-80.0	-93.3	-86.7
業界の景況	-46.7	-36.7	-50.0	-43.4	-46.7	-50.0	-53.3	-60.0	-73.3	-80.0	-90.0	-90.0	-93.3

非製造業	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6
売上高	-16.7	-23.3	-16.6	-16.7	-40.0	-26.7	-26.7	-43.4	-56.7	-60.0	-83.3	-83.4	-66.6
収益状況	-23.3	-33.3	-20.0	-16.7	-36.6	-36.7	-26.6	-53.3	-60.0	-56.7	-80.0	-80.0	-73.4
業界の景況	-36.7	-26.7	-23.4	-20.0	-40.0	-36.7	-30.0	-40.0	-56.7	-60.0	-83.3	-83.3	-73.3



■2019年6月期～2020年6月期までの推移

売上高	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6
製造業	-33.3	-20.0	-30.0	-30.0	-40.0	-36.7	-46.7	-60.0	-66.7	-73.3	-90.0	-90.0	-86.7
非製造業	-16.7	-23.3	-16.6	-16.7	-40.0	-26.7	-26.7	-43.4	-56.7	-60.0	-83.3	-83.4	-66.6

収益状況	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6
製造業	-33.3	-20.0	-43.3	-46.7	-43.3	-33.3	-43.4	-56.6	-63.3	-73.3	-80.0	-93.3	-86.7
非製造業	-23.3	-33.3	-20.0	-16.7	-36.6	-36.7	-26.6	-53.3	-60.0	-56.7	-80.0	-80.0	-73.4

業界の景況	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6
製造業	-46.7	-36.7	-50.0	-43.4	-46.7	-50.0	-53.3	-60.0	-73.3	-80.0	-90.0	-90.0	-93.3
非製造業	-36.7	-26.7	-23.4	-20.0	-40.0	-36.7	-30.0	-40.0	-56.7	-60.0	-83.3	-83.3	-73.3

